

溪和会江別病院 平成30年度病院指標

2. 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	40	8.53	4.96	0.00%	75.10
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	33	12.03	7.30	0.00%	61.09
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	17	6.24	5.49	0.00%	38.24
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	16	14.75	8.95	0.00%	77.38
060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全 切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	14	20.64	15.30	0.00%	74.50

<解説>

コード分類では、上記患者数が多くなっています。

悪性疾患に対する手術、処置全般では大腸がん85例、胃がん25例、肝・胆道・膵がん合計で34例でした。

悪性疾患に対しては手術のみならず、化学療法、免疫療法なども行っています。

人工透析内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血 栓除去術等 手術・処置等2 なし	24	17.25	5.09	0.00%	75.92
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手 術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	16	17.00	12.05	6.25%	74.88
110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成 術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2 なし 定義副傷 病 なし	11	19.18	8.75	0.00%	74.27
110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手 術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	-	16.27	-	-
110280xx99001x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手 術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 あり	-	-	19.08	-	-

<解説>

腎不全患者さんの透析治療を主とし、シャント作成、シャントのトラブルにも対応しています。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
010060x2990201	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病 なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	59	17.42	16.16	40.68%	75.75
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	43	10.09	7.28	6.98%	69.40
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	38	4.82	5.10	0.00%	70.74
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	26	15.42	9.69	3.85%	77.23
030410xxxxxxxx	めまい(末梢前庭以外)	25	3.80	4.84	0.00%	68.08

<解説>

脳卒中やてんかんだけではなく、良性発作性めまい、中枢性めまいなどの耳鼻科疾患にも対応しています。

頭蓋内損傷に対する治療として、硬膜下血腫穿孔洗浄術を行っています。

急性期の患者さんは手術治療のほか、薬物治療や、リハビリ治療を行い、患者さんの状態にあわせて自宅や施設、療養型病院、回復期病院などへ退院できるよう連携を行っています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし 定義副傷病なし	17	26.71	19.61	23.53%	81.35
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	16	34.69	26.30	50.00%	81.94
160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	12	8.67	5.68	0.00%	72.33
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	-	-	12.51	-	-
160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等2 なし	-	-	19.32	-	-

<解説>

平成30年5月より常勤の整形外科医が着任し、各種骨折治療や、リハビリ治療を行っています。

人工関節手術は非常勤の医師と連携し行っています。

また骨折の治療を早める目的で超音波療法を導入しています。

消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的大腸ポ リープ・粘膜切除術 定義副傷病 なし	156	2.19	2.67	0.00%	69.75
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	39	8.90	7.75	0.00%	57.18
060390xxxxx0xx	細菌性腸炎 手術・処置等2 なし	38	11.61	7.30	0.00%	63.37
060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 手術・処置等2 なし	37	9.89	8.93	2.70%	68.24
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・ 処置等2 なし 定義副傷病 なし	34	17.35	10.08	0.00%	78.82

<解説>

大腸ポリープに対する内視鏡的切除術を1泊2日の短期入院で行っています。

結腸憩室炎や腸炎、虚血性腸炎などの腸疾患に対する治療や総胆管結石や急性胆のう炎などの胆道疾患、膵炎や膵臓がんなどの膵臓疾患、肝がんや肝硬変などの肝臓疾患を中心に、幅広く消化器疾患の治療を行っています。

外科的治療が必要となった場合は、外科医と連携をとり迅速な治療が可能です。

また、平成30年6月には、クローン病などの小腸の疾患に対する検査としてカプセル内視鏡を導入しています。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	74	4.05	3.01	4.05%	72.08
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	50	26.96	17.66	8.00%	83.74
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1 なし、1,3あり 手 術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	35	14.11	11.01	2.86%	78.06
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	27	20.85	20.92	18.52%	87.70
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・ 処置等1 なし、1,2あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	24	5.00	4.47	0.00%	65.88

<解説>

心臓疾患の患者さんを主に治療しています。

狭心症などの疾患で心臓カテーテル検査を受けられる患者さんが最も多く、徐脈性不整脈に対するペースメーカー移植や交換も行っています。
心不全の患者さんには薬物治療や心臓リハビリを行い、患者さんの状態に合わせて自宅や介護施設、療養病院などへ退院できるよう連携を行っています。

呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	33	18.45	20.92	21.21%	85.09
0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし A-DROP スコア2	12	12.08	15.17	8.33%	83.33
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2 なし	12	15.58	19.06	0.00%	75.50
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	11	19.00	14.58	18.18%	77.45
040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処 置等2 なし 定義副傷病 なし	-	-	13.63	-	-

<解説>

肺炎や肺がんなどの呼吸器疾患の治療を主に行っています。

また、肺がんに対し抗がん剤治療を行い、患者さんの状態によって緩和ケア病棟のある病院へ転院できるよう連携を行っています。